

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民と野党の共闘で いのち まもる 新しい政治を

街頭演説会 山下よしき副委員長が訴え

日本共産党の山下芳生副委員長・参院議員迎えての街頭演説会が12日、県庁前で開催され、衆院中国ブロックでの



大平よしのぶ前衆院議員の議席奪還、衆院2区でのむこせ慎一候補の勝利で、野党連合政権実現を訴えました。

山下氏は、自公政権によるコロナ対応の無為無策、強権・腐敗政治を厳しく批判。「菅首相の政権投げ出しは、9年間の安倍・菅政治そのものの破綻だ」と指摘し、総選挙における四つの争点、①国民の命と暮らしを何よりも大切にする政治②地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会③ジェンダー平等の日

本④憲法9条を生かした平和外交を説明。市民連合と野党4党が8日に合意した総選挙における野党共通政策を報告し、「日本共産党の躍進と市民と野党の共闘を成功させ、日本の前途に新しい展望を開く政治の実現へ力を合わせましょう」と呼びかけました。

いのちと暮らし優先の政治へ、しまね総がかり緊急集会

9月9日18時からテルサ前広場にて、「いのちと暮らし最優先の政治をめざす」しまね総がかり緊急集会が開かれ、70名が参加、市民、各野党代



集会で訴える尾村県議

表がリレートークを行いました。島根総がかり行動実行委員会は、安保関連法の廃止を求めて2015年に結成、立憲野党の共闘で憲法を生かす政治刷新を訴えて活動しています。主催者挨拶した安保関連法の廃止を求める島根大学人の会の三宅孝之・島根大名誉教授は、市民連合が8日に野党各党（日本共産党、立憲民主党、社民党、れいわ新選組）と「共通政策の提言」を交わしたと紹介、「市民と野党の共闘で、政権の退場を」

と訴えました。その後、市民4氏と共産党立憲民主党、社民党の代表がリレートークし、国民民主党からメッセージが寄せられました。尾村利成県議は「菅首相が政権を投げ出したのは、コロナの失政や強権・腐敗政治に對して『こんな政治は許せない』という国民の世論と運動に追い詰められた結果」と強調し、「総選挙で自公政治を退場させ、市民と野党の共同で命を守る政権をつくらう」と訴えました。

大雨台風被害、要望を届ける

共産党松江市議団は、7、8月の豪雨や台風被害に関して、市民の皆さんから寄せられた要望を市に届けました。8月26日の総務部に続き、31日には都市整備部に具体的な要



都市整備部と懇談する市議団

望を申入れ、為国部長と桂次長が応対しました。主な要望は、北田川、桜川、比津川、意東川や意宇川の浸水や護岸整備、浚渫等の対策、大海崎堤防かさあげ、各地の水路の改修や排水ポンプ設置等内水対策、土砂崩れの予防措置等です。市の管理河川や道路、水路について担当課にて対策する、県のものについて災害対策を強く要望すると応じました。東出雲支部吉儀前市議も参加し、付近の市民の声を届けました。気候危機で線状降水帯の発生や台風被害も増えることが予測される中、生活道路等の整備充実が急がれます。

新型コロナウイルス感染症対策申し入れ

共産党松江市議団は8月31日、学校での新型コロナウイルス感染拡大が懸念される事態を受け、松江市教育委員会に対し、新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れを行い、藤原亮彦教育長、玉木一男教育総務課長



教育長と懇談する市議団

が対応しました。主な要望は、▼学校でのデルト株に対応した感染拡大を防ぐ仕組みを整えること。▼教職員の希望者に迅速なワクチン接種の体制をつくることなどでした。藤原教育長からは、「家庭内での感染が増加しているのが特徴」「市長にも家庭での感染予防を呼びかけてもらうよう話した」「給食や部活動でマスクを外す環境となり心配。改めて手洗い、マスクなどの徹底を図る」「接種本部からは、今後供給があれば教職員への優先接種も検討すると聞いている」との回答がありました。